

令和6（2024）年度第1回かわさき市民アンケート 単純集計結果を公表します

川崎市では、市政に対する市民の意識を多面的に調査し、市政運営等の参考とすることを目的として、年2回「かわさき市民アンケート」を実施しています。

この度、「令和6（2024）年度第1回かわさき市民アンケート」の回答データ（単純集計）を、川崎市ホームページ上に掲載しましたので、お知らせします。

1 かわさき市民アンケートについて

昭和50（1975）年度から毎年1回実施していた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査を行うため、調査回数を年2回に拡充し、名称を変更して平成18（2006）年度から実施している調査です。

第1回の調査はインターネット調査法、第2回は郵送調査法によって調査を行っています。

2 回答データ（単純集計）の掲載箇所

川崎市ホームページ

市政情報 > 広聴・パブリックコメント > かわさき市民アンケート > 令和6年度
> 令和6(2024)年度第1回かわさき市民アンケート回答データ（単純集計）

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000170839.html>

3 調査設計及び調査回答者の属性等

別紙「令和6（2024）年度第1回かわさき市民アンケート 調査設計・回答者属性等」を御参照ください。

4 今後の予定

単純集計だけでは、正確な実態を把握することが難しいため、現在、回答データを基に、属性や設問間のクロス集計等を行い、分析作業を進めているところです。

分析結果については、第2回かわさき市民アンケートの結果とあわせて、令和7年4月初旬に報告書及び概要版の冊子を作成し、公表させていただく予定です。

問合せ先

川崎市総務企画局都市政策部企画調整課 佐藤

電話 044-200-2367

令和6（2024）年度第1回かわさき市民アンケート 調査設計・回答者属性等

1 調査設計等

調査対象	川崎市在住の満18歳以上の個人
調査方法	インターネット調査
標本抽出	インターネットモニター登録者から抽出
調査期間	令和6（2024）年8月23日（金）から9月6日（金）まで
有効回収数	1,500標本
主な調査項目	・災害に対する備え ・かわさきの農業 ・地域における多文化共生に関する意識

2 調査回答者の属性

(1) 性/年齢別

(単位 人、%)

	全体		男性		女性		選べない・ 答えたくない	
	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比
18～19歳	20	1.3%	6	0.8%	13	1.8%	1	9.1%
20～29歳	204	13.6%	72	9.4%	130	18.0%	2	18.2%
30～39歳	306	20.4%	178	23.2%	124	17.2%	4	36.4%
40～49歳	314	20.9%	175	22.8%	135	18.7%	4	36.4%
50～59歳	298	19.9%	156	20.4%	142	19.6%	0	0.0%
60～69歳	188	12.5%	98	12.8%	90	12.4%	0	0.0%
70～79歳	170	11.3%	81	10.6%	89	12.3%	0	0.0%
合計	1,500	100.0%	766	100.0%	723	100.0%	11	100.0%

(2) 居住区別

(単位 人、%)

	基数	構成比
川崎区	233	15.5%
幸区	167	11.1%
中原区	262	17.5%
高津区	228	15.2%
宮前区	224	14.9%
多摩区	218	14.5%
麻生区	168	11.2%
合計	1,500	100.0%

※ 令和6（2024）年6月末時点の人口（性/年齢/居住区別 構成比）を基本に、標本抽出しています。

※ 表中の「百分率」は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100にならない場合があります。

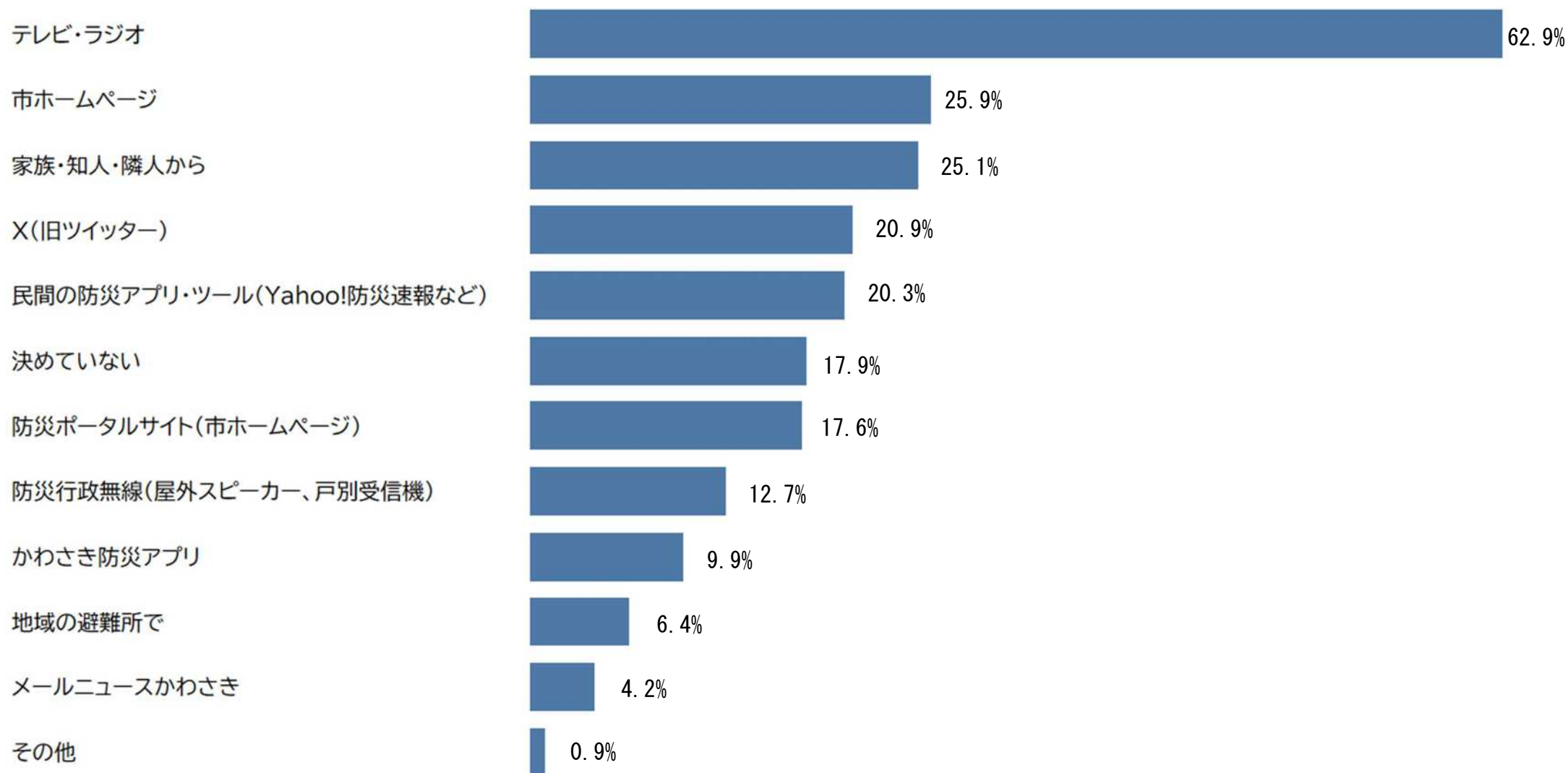
設問 一覧	
SQ1.	あなたの年齢を教えてください。
SQ2.	あなたの性別を教えてください。
SQ3.	あなたがお住まいの地域を教えてください。
SQ4.	あなたが現在お住まいの区はどちらですか。
Q1.	災害時、必要となる情報をどのような手段で入手しますか。
Q2.	地震に関し、あなたが行っている家庭での備えについてうかがいます。項目ごとにあてはまるものを選んでください。
Q2-1.	前問の「発災時の火災を防ぐ対策を行っていますか。」の質問で、「はい」を選んだ方にうかがいます。どのような対策を行っていますか。
Q3.	引き続き、地震に関し、あなたが行っている家庭での備えについてうかがいます。今日現在の状況で、項目ごとにあてはまるものを選んでください。
Q4.	川崎市が発行している洪水や内水、土砂災害のハザードマップを見たことがありますか。また、ご自身のお住まいが、洪水や内水による浸水や、土砂災害の区域内にあるか否かを知っていますか。
Q4-1.	前問で、「ハザードマップを見た。自身の住まいの区域の災害リスクを知っている。」又は「ハザードマップを見た。自身の住まいの区域の災害リスクは知らない。」を選んだ方にうかがいます。ハザードマップをどのような手段で見ましたか。
Q5.	川崎市では、大雨や台風などの風水害に備えて、生活の状況に合わせた避難行動（自分の逃げ方）をマイタイムラインとして平常時に作成することを推奨していますが、あなたは作成していますか。
Q6.	近年、災害が頻発化・激甚化しており、迅速かつ円滑な復旧や被災者の支援を行うためには、市が行う災害対応だけでなく、地域住民の方々の連携や協力が今後より一層重要になってきます。このことを踏まえ、項目ごとにあてはまるものを選んでください。
Q7.	災害時、ご自身やご家族が無事な場合に、あなたは地域で行う活動への程度協力したいと思いますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。
Q8.	かわさきの農業について、次の項目を知っていますか。
Q9.	今後、市が「かわさきの農業」を更に情報発信するにあたって、最も効果がありそうだと思う方法を次の中から選んでください。
Q10.	あなたが「かわさきそだち」を購入するとしたら、どこで購入したいですか。
Q11.	次の川崎市の「農業」に対する取組はどの程度重要だと思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んでください。
Q12.	あなたは、自分の暮らす地域で外国人市民と共に暮らすことが身近になってきていると感じますか。
Q13.	あなたは、ふだん地域で生活する中で次のようなつきあいのある外国人市民はいいますか。
Q14.	地域で付き合いのある外国人市民とどうやって知り合いましたか。
Q15.	あなたは、国籍の異なる市民との交流でこれまでに難しいと思ったこと、または今後交流するにあたり難しいと感じていることはありますか。
Q16.	国籍の異なる市民との相互理解を深めるためにどのような機会があればよいと思いますか。
Q17.	国籍の異なる市民が地域で相互理解を深めるためにあなたができることは何ですか。
Q18.	あなたは次のような川崎市の施設や取組を知っていますか。

設問 一覧	
F1.	あなたは、川崎市内にどのくらいの期間、住んでいらっしゃいますか。川崎市外への転出を経験された方の場合も、川崎市内での居住期間を通算でお答えください。
F2.	あなたが普段最もよく使うご自宅の最寄り駅はどちらですか。
F3.	あなたは、ご結婚なさっていますか。婚姻届を出していない内縁の関係・事実婚も含めてお答えください。
F4.	お子様はいらっしゃいますか。離れて住んでいる方も含めてお考えください。
F5.	あなたの主なお仕事を教えてください。
F6.	あなたの主な通勤先あるいは通学先はどちらですか。
F7.	あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。
F8.	現在、同居している方は、あなたを含めて何人ですか。ひとり暮らしの方は「1」人と入力してください。
F9.	同居者がいる方だけにおたずねします。同居している方の中で（ご自身を含む）、以下にあてはまる方はいますか。

令和 6（2024）年度
かわさき市民アンケート第 1 回調査

主な単純集計結果

Q1.災害時、必要となる情報をどのような手段で入手しますか。 (いくつでも) (n=1,500)



Q3.引き続き、地震に関し、あなたが行っている家庭での備えについてうかがいます。今日現在の状況で、項目ごとにあてはまるものを選んでください。

【飲料水について、1人1日3リットル必要とする想定で、冷蔵庫内などにある日常生活で使う分も含め、何日過ごすことができますか。】

(n=1, 500)



【食料について、冷蔵庫内などにある日常生活で使う分も含め、何日過ごすことができますか。】



【携帯トイレについて、1人1日5回使用する想定で、備えてある分で何日過ごすことができますか。】



Q4.川崎市が発行している洪水や内水、土砂災害のハザードマップを見たことがありますか。

また、ご自身のお住まいが、洪水や内水による浸水や、土砂災害の区域内にあるか否かを知っていますか。

(n=1,500)

ハザードマップを見た。
自身の住まいの区域の災害リスクを知っている。

47.7%

ハザードマップを見た。
自身の住まいの区域の災害リスクは知らない。

15.2%

ハザードマップを見ていない。
自身の住まいの区域の災害リスクは知っている。

10.5%

ハザードマップを見ていない。
自身の住まいの区域の災害リスクも知らない。

26.7%

Q5.川崎市では、大雨や台風などの風水害に備えて、生活の状況に合わせた避難行動(自分の逃げ方)を
マイタイムラインとして平常時に作成することを推奨していますが、あなたは作成していますか。

(n=1,500)

作成している
4.3%

作成していない
95.7%

Q7.災害時、ご自身やご家族が無事な場合に、あなたは地域で行う活動への程度協力したいと思いますか。
項目ごとにあてはまるものを選んでください。

【火災の初期消火】

(n=1,500)



【ご近所への避難の呼びかけや安否確認】



【高齢者などの一人で避難することが困難な人の避難の手伝い】



【がれき等の災害ごみの片付け】



【炊き出しや清掃などの避難所運営の手伝い】



Q8.かわさきの農業について、次の項目を知っていますか。

【市内で農業が行われていること】

(n=1,500)



【「かわさきそだち」(川崎市内農産物の総称)】



【「菜果ちゃん」(「かわさきそだち」の販売を促進するために誕生したPRキャラクター)】



【「セレサモス」(JAセレサ川崎が宮前区と麻生区で運営する大型の農産物直売所)】



【農家の軒先や敷地に設置している「農産物直売所」が市内にあること】



Q9.今後、市が「かわさきの農業」を更に情報発信するにあたって、最も効果がありそうだと思う方法を次の中から選んでください。

(n=1,500)

市民フェアや収穫体験といった
リアルイベントの開催頻度を増加

30.8%

SNSを用いて「かわさきそだち」
の旬な話題を随時発信

17.1%

オンライン販売を活用して「かわさきそだち」
を市民へ直接販売を実施

13.9%

出張販売を強化して「かわさきそだち」
を市民へ直接販売する機会を増加

23.7%

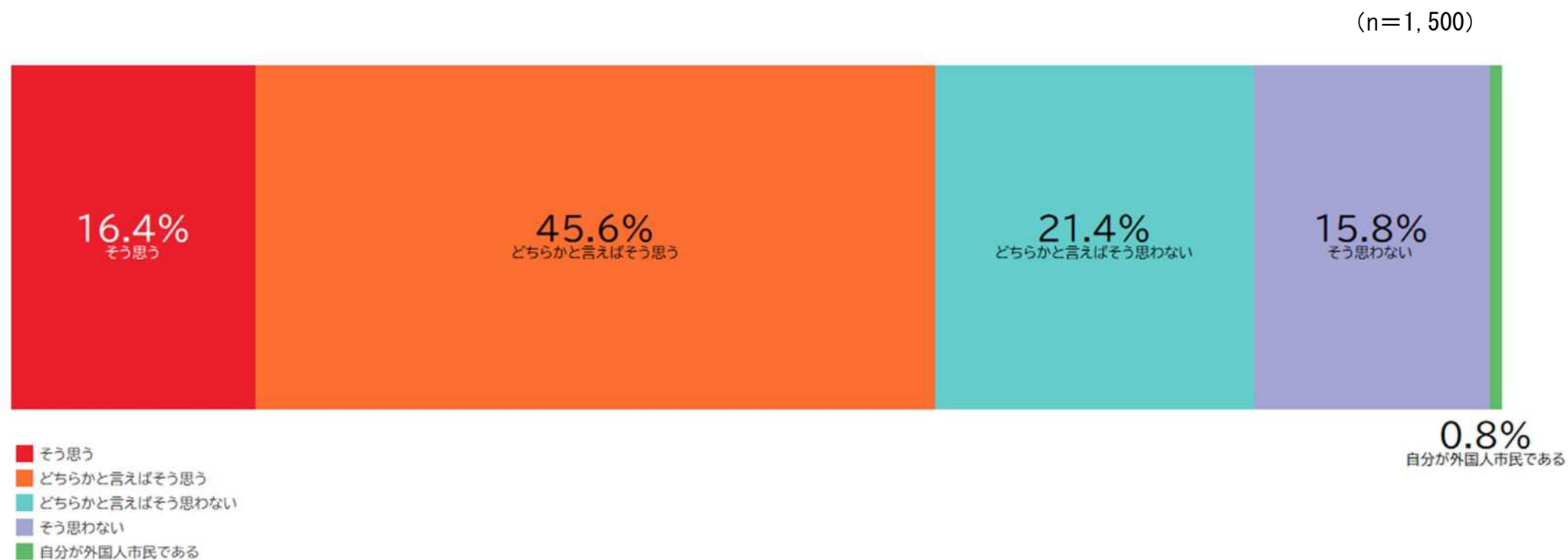
「かわさきそだち」に代わる新たな
市内産農産物の呼称やシンボルに刷新

12.5%

その他

2.1%

Q12.あなたは、自分の暮らす地域で外国人市民と共に暮らすことが身近になってきていると感じますか。



Q17.国籍の異なる市民が地域で相互理解を深めるためにあなたができることは何ですか。（いくつでも）

(n=1,500)

